

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定により、平成20年3月26日付け松江市監査委員告示第2号で公表した定期監査（公営企業会計）の結果に基づき、松江市長から措置等を講じた旨の報告がありましたので、次のとおり公表します。

平成20年6月6日

松江市監査委員 小松原 操
 松江市監査委員 伊原 正人
 松江市監査委員 田村 昌平

措 置 報 告 書

監 査 結 果	措 置 状 況
<p>(1) 水道局（水道事業会計）</p> <p>給水量の低下による収益の減少が続く一方で、老朽施設の更新、尾原ダム供用開始後の受水費増大、簡易水道事業との統合問題など経営環境が厳しくなることが懸念されている。このような状況から職員数削減による組織のスリム化、建設工事等における調達方式の見直し、適正な維持管理による施設の延命化など経費削減により経営改善の成果が表れている。今後も中長期的視点に立ち、質の高い市民サービスを提供するとともに経営の健全化に取り組み経営改革を推進されたい。</p> <p>滞納整理業務については、松江水道事業及び松江鹿島水道事業において委託を実施し業務の効率化を進められているところではあるが、今後は業務結果を精査のうえ実績を反映させる契約に改め、一層効率的で効果的な業務の遂行に努められたい。</p>	<p>(1) 水道局（水道事業会計）</p> <p>経営改善による今日の成果については、労使関係の改善から始まり、人員の削減、主要な事業の大幅な見直しや調達方法の見直し、職員の意識改革に伴う事業の効率性の追求など数年間の取り組みの成果が現れてきていると認識しています。</p> <p>今後についても、経営環境が厳しくなるなかで、これまでと同様に経営改善を促進するとともに、水道事業経営懇話会からの提言を経営の基本理念と位置づけ、収入が減少しても経営が成り立つよう、より一層の経営改革を推進してまいります。</p> <p>検針業務や滞納整理業務の民間委託化は全国的にも早くから取り入れられており、松江市においては平成15年に検針業務、16年に滞納整理業務を委託化しています。</p> <p>しかし、滞納整理において契約当時に参考にした先進地の業務マニュアルにある、ごく一般的な発注要件による契約では、収納目標達成のために十分な成果を得るに至らないことが、ここ1、2年と委託経過の中で判明してきました。</p> <p>そこで、業務の実行において十分な成果を得るべく調査、研究を行っていましたが、監査においても同趣旨の指摘を受け、平成20年度の契約にあたっては、契約時に目標収納率を設定し、目標数値を上回れば委託料を増額、下回れば減額する査定制度を4月から導入しました。</p> <p>このように、実績を反映させる業務委託に切り替え改善を図ってきましたが、今後この結果を踏まえながら更なる収納率の向上に努めてまいります。</p>
<p>(2) ガス局（ガス事業会計）</p> <p>電化の伸展等によるガス需要の低迷を主因とする営業収益の減少に加え熱量変更事業の償却なども影響し、単年度収支及び資金面において極めて厳しい状況が続いている。この厳しい経営状況を強く認識され、組織のスリム化、事務事業の委</p>	<p>(2) ガス局（ガス事業会計）</p> <p>ガス事業を取り巻く経営環境は、長引く原料費の高騰傾向と他エネルギーとの競争の激化により大変厳しい状況にあります。</p> <p>こうした環境の中、松江市行財政改革大綱並びに実施計画に基づき組織のスリム化を進めており、</p>

<p>託化等経常経費について根本的な見直しを図るなど積極的な経営改善に努められたい。また、建設改良においては、投資効果を見極めながら設備投資の抑制を図るなど適正に対処されたい。</p>	<p>委託料の見直しを図るなど経常経費の削減に取り組んでいますが、一方で需要開発を進めることにより、経営改善に努めます。</p> <p>また、建設改良における拡張工事については、営業部門との連携をとりながら効率的な投資に努め、改良工事においては、他工事との共同施工により工事費の縮減に努め、投資の抑制を図ります。</p>
<p>(3) 交通局（自動車運送事業会計）</p> <p>定期旅客運送事業については、公共交通体系整備計画に基づき、民間事業者との役割分担による競合路線の見直しや撤退路線の引き継ぎ、夜間便の創設や等間隔運行などが実施されている。今後は路線再編等の検証・分析を行い、市民の立場に立った路線の構築や改善、わかりやすい情報の提供に努めるなど、一層の利用促進を図られたい。</p> <p>貸切旅客運送事業については、企画ツアーの参加人員が増加し、催行率が向上している。今後も顧客ニーズを的確に把握し、地域内ツアーを実施するなど魅力ある商品開発と収益の確保に努められたい。</p> <p>職員数の削減など組織体制の見直しが図られている。今後の貸切旅客運送事業を含め交通局の組織全体のあり方について検討されたい。</p>	<p>(3) 交通局（自動車運送事業会計）</p> <p>平成20年4月1日に北循環線の県民会館への再経由や通学・通勤便の到着時間調整等のダイヤ改正を行い、利便性の向上に努めました。</p> <p>また、経由地が分かり易くなるようバスの行先表示を2桁番号から3桁番号とし、始発バス停に経由地を記載した系統図を設置するなど、情報提供の工夫を行い、利用の促進に努めました。</p> <p>今後も、利便性の向上・利用促進に向け一層努力をしております。</p> <p>好調のアウトドアコースに次ぐ魅力ある商品の開発に取り組み、増収増益となるよう努めてまいります。</p> <p>交通局の組織体制のあり方については、現在関係機関と協議検討中であり、早期の実施に向け、努めてまいります。</p>
<p>(4) 交通局（駐車場事業会計）</p> <p>城山西・白瀧駐車場の定期駐車及び城山西駐車場のパーク＆ライドについては、積極的なPRを行い、更なる利用増進を図られたい。また、水害時における白瀧駐車場の地域開放について検討されたい。</p>	<p>(4) 交通局（駐車場事業会計）</p> <p>松江市広報等への掲載を行い、利用促進へ努めてまいります。</p> <p>また、災害時における駐車場開放につきましては、松江市防災安全課と連携し、実施に向け検討いたします。</p>
<p>(5) 市立病院（病院事業会計）</p> <p>新病院に移転後2年半が経過し、新病院として初めての事業年度となった前年同期と比較して、外来患者数・収益、新規患者数は増加し、入院患者数・収益は減少している。また、DPC(診断群分類包括評価)導入に向けた取り組み等により平均在院日数は短縮したものの、病床利用率が低下している。平成20年度には7対1看護配置の導入が予定され、経営に与える影響も大きいことから、今後の事業運営にあたっては、病床利用率・紹介率等の数値目標達成に向け具体的な対策を着実に実行するとともに、更なる医療の質向上により経営の健全化に努められたい。</p> <p>過年度未収金が依然として増加している。収納体制の改善による滞納整理の強化、委任払い等の推進など、未収金の早期回収・発生防止に実効性のある対策を講じられたい。</p>	<p>(5) 市立病院（病院事業会計）</p> <p>地域の開業医や他の病院との連携推進を図り、紹介患者を確保することにより、新規入院患者の増につなげていくよう取り組んでいるところであります。今後も、より一層近隣の開業医等との連携を深め、病床利用率・紹介率等の目標達成に向けて努めてまいります。</p> <p>現在、出産育児一時金受取代理制度、高額療養費制度の活用推進を図るため、ポスタ-を作成・掲示し、更にパンフレットを作成・配布しているところであります。また、平成20年4月から専任の職員を配置し対応しているところであります。今後も未収金発生防止に努め、また回収についても、電話連絡・督促・訪問等、更にこまめに取り組んでまいります。</p>